

（意見交換会から）

要望 1 行政は何でも町内会にお願いをしてくるが、「町内会長が不在のところはどうするのか」と問うと、「町内会は任意団体なので、行政協力員を通じてやっている」と答える。しかし、その行政協力員の推薦依頼は、町内会長あてに来る。そのような行政の対応が気に入らない。

要望 2 「町内会は任意団体だから」という消極的な態度ではなく、市と町内会が一緒に頑張ろうという気持ちになってほしい。

要望 3 町内会についての窓口は総務課総務係であるが、あちこちの部署に回すのではなく、ワンストップで対応してほしい。

要望 4 もし町内会がなくなったら大館市の経費がどれくらいかかるかを試算してほしい。ごみステーションの更新や街灯の維持などに多額の費用がかかっている。

〔総務課〕

回答 要望 1～4 につきましては、一括してお答えします。

地域で暮らす方々がつながり、自分たちの地域を住み良くするために自主的に活動する町内会組織は、市と協力・連携しながら地域の生活課題に対処していただいております。住民自治の基礎となる組織です。

市では、近年、町内会が解散した事例を受け、町内会が組織されていない区域における生活課題への取り組みや、町内会への協力依頼の内容や方法、町内会活動の維持・活性化に対する連携の在り方などについて、現在検討を進めているところです。

地域における生活課題は様々であり、それぞれの担当部署が窓口となって対応しておりますが、どこに相談してよいかわからない場合や複数の課にまたがる内容の場合は総務課でお話を伺っております。

地域自治の推進のためには、町内会と市の協力・連携は欠かせないものであり、市の役割は、直接的に町内会を管理するのではなく、住民の主体的な活動をサポートする仕組み作りや支援を行うことであると考えております。ご要望の経費の試算を含め、市と町内会との連携の在り方について、引き続き検討を進めてまいります。

要望 5 空き家の解消と移住定住に取り組めるような任意団体を山田地区につくろうとしているが、議会も行政も、こうした活動をバックアップする体制をつくらせてほしい。

〔交流推進課〕

回答 空き家の解消と移住定住については、市としても重要な政策課題のひとつであると認識しており、山田地区の取り組みは、市の方向性とも一致する、将来

を見据えた活動と捉えております。

市では、空き家解消策として「空き家バンク制度」を設けているほか、移住定住策については、市独自の制度や県の移住定住策を活用しながら、市全域への移住定住を推進しておりますので、各種施策に関する情報を設立検討中である団体に提供できればと考えております。

また、移住に向けた相談があった際にも、連携できればと考えております。

要望6 高齢者の間口除雪を申請していない町内会に状況を聞くなどの配慮が足りない。町内会館前も災害時などに困るので除雪をお願いしたら、「ここではない。比内総合支所だ」と言われた。きちんと事情を聞いて対応してほしい。

〔長寿課、土木課〕

回答 市では、町内会の皆様の共助により、地域の除雪困難世帯の間口除雪を実施する町内会を支援する「地域ふれあい除雪支援事業」を実施しております。

毎年5月には、担当する長寿課から前年度に事業を実施できなかった町内会等に対し本事業の概要をお知らせし、参加意向を伺うアンケートを実施しており、併せて各町内の高齢者宅の除雪に関する課題や現状についてご意見を伺っております。

また、道路除雪の担当である土木課では、高齢者世帯の間口除雪対応については、ケースごとに事情をお伺いしながら除雪業者へ配慮するよう適宜、指示しております。

今後も様々なご意見を参考に、冬季の市民サービスの向上に努めてまいります。

要望7 ごみ処理施設について、事業協力金がもらえないのであれば、移転してほしい。

〔環境課〕

回答 ごみ処理施設の設置については、地域住民との合意形成が行われたうえで設置、運営し現在に至っていると認識しております。

また、施設の運営に関しては、関連法令の遵守はもとより、周辺環境に配慮した運営を心掛けておりますので、ご理解をお願いいたします。

要望8 敬老会について、申請する町内会としない町内会がある。平等にするため、申請しない町内会には、申請するように指導などをしてはどうか。〔長寿課〕

回答 市では、顔の見える関係性をもつ町内会等による高齢者見守り体制と、地域のつながりを促進し互いに支え合う持続可能な地域を構築するため、町内会等が実施する高齢者への長寿のお祝いや多世代交流等の各種行事を支援する「高

「高齢者地域支え合い支援事業」を実施しております。この事業については敬老会に限らず、地域が実施する幅広い行事への活用を可能としております。

事業の実施にあたっては、年度内の対象期間に開催される町内行事等の費用の一部を補助する事業であるため、毎年4月上旬に全町内会長に対して、本事業のお知らせ通知と申請の手引きをお送りして活用を働きかけているほか、年度途中には事業未活用の町内会等に対して他町内会等の活用事例をお伝えしながら、事業の活用を検討いただくようお声掛けしているところです。

事業は令和3年度から実施しておりますが、活用する町内会等も年々増加しており、地域での高齢者の見守りと地域のつながりを深めるという本事業の趣旨にご理解をいただいているものと捉えております。

今後多くの町内会等に事業を活用いただくため、申請手続等のサポートも行っておりますので、お困りの際はお気軽にご相談ください。

**要望9 一次産業の担い手不足も課題である。行政だけでなくＪＡとも連携して、
てこ入れすべき。 【農政課】**

回答 本市においても少子高齢化や人口減少の影響により、全産業において労働者不足となっております。特に第一次産業の中核となる農業においては、農業経営体数が平成22年から令和2年までの10年間で2,700から1,200に半減するなど、減少が顕著な分野のひとつとなっております。

農業経営体減少の要因は、後継者不在による廃業のほか、農業は儲からないという固定観念や、収入が労働時間に見合わないことが、新規就農の妨げとなっていると考えております。

この固定観念を取り払うため、本市は「稼げる農業」への転換を目指し、農作業のスマート化による省力化や、ＡＩ・衛星画像・集積データを活用した資材の使用量低減など、効率化や経費節減を支援するほか、販路拡大や付加価値の向上に取り組んでいるところです。

また、「稼げる農業」の実現には、流通分野も重要と考えており、かねてよりＪＡに対して情報提供や様々な施策の提案を行ってきたところです。

さらに、国の経営所得安定対策における産地交付金などの地域の独自性を出せる分野においてもＪＡと協議のうえ決定しているほか、今年度はＪＡの要望を受け小規模農業者経営継続支援事業を実施いたします。

農業者の所得の向上を図るという市とＪＡの基本理念は変わらないものと考えております。「稼げる農業」に向けて市が政策提案を行うだけではなく、ＪＡからも提言をいただき、それぞれの事業を磨き上げながら、実効性のある事業を展開してまいります。

要望 10 インランドデポに大きな投資をして回収できるのか。

〔商工課〕

回答 資源リサイクルや医療機器製造などの本市基幹産業では、輸入・輸出における京浜港までの輸送の多くをトラックが担っておりますが、インランドデポを整備し、鉄道輸送にシフトすることで、トラックドライバー不足の対応や温室効果ガス削減に貢献するとともに、企業の安定的な輸送手段の確保や事業拡大にもつながるものと考えているところです。

また、世界に開かれた物流拠点を開設することによって、地元企業や農産品生産者が新たに海外展開に踏み出す契機にさせていただくほか、広く北東北や道南の物流機能を担うことにより、この圏域の産業振興や経済発展に波及することを期待しております。

なお、大館駅インランドデポの整備については、国の事業として実施いただけるよう、今後も関係省庁に働きかけを行ってまいります。

要望 11 インランドデポの重要性が市民に浸透していない。具体的な数字や事例を紹介してもっとPRすべき。また、大館駅周辺の駐車場が減ってしまったので、市が主導して整備すべき。

〔商工課、都市計画課〕

回答 ご指摘いただきましたとおり、インランドデポが果たす役割や重要性など、市民にわかりやすく情報発信してまいりたいと考えております。

また、大館駅周辺の駐車場については、昨年8月8日に完成した駅前広場に29台の公営駐車場（無料）を整備しており、以前より多くの駐車台数を確保したところです。駐車場は送迎や駅なかの会議室利用を想定しており、3時間程度までの利用としておりますが、宿泊に伴う長時間の駐車については、公営駐車場の東側に隣接する民営駐車場（有料約60台）をご利用いただくよう案内しております。

現在の駐車状況については、公営・民営いずれの駐車場も空きがあり、また東側に市有地（旧朝市駐車場跡地）があることから、今後も駅周辺の状況を勘案し、駐車場整備等有効な利活用方法を検討してまいります。

要望 12 小学校のスキー授業に利用できる坂を、業者と連携して作れるような体制をつくれな

い。〔教育総務課〕

回答 小学校のスキー授業は、各学校の判断により、低学年児童が練習できるようPTAや地域の方々にご協力をいただき、降り積もった雪を利用して坂等を作っている学校があります。

市では、保護者や地域の高齢者、民間企業等の幅広い方々に参画いただき、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることを目的に、すべての学校で

「地域学校協働活動」を行っており、学習支援や学校環境整備等に取り組んでいます。

今後、児童数の減少に伴いPTA活動の負担も増加していくものと考えられるため、各小学校のスキー授業の実状を確認し、持続可能な学習環境の体制づくりを検討してまいります。

要望 13 大館市にも美術館を造ってはどうか。 [生涯学習課]

回答 教育・文化施設（ほくしか鹿鳴ホール、栗盛記念図書館、中央公民館など）は、建物の老朽化が進んでおり、今のところ施設の修繕などをしながら利用していただいているところであります。

まずは、既存施設の維持を最優先と考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

要望 14 病院は、人口が少なくなれば当然統合しなければいけなくなると考えている。厚生労働省から慢性期の療養病床が必要という見解が出ており、必要な病床を削減してしまうと住民が困ってしまう。 [総合病院経営企画課]

回答 扇田病院の入院患者数に関しては、令和6年度後半から1病棟体制で対応できる人数に自然減している状況です。

医療従事者不足が進む中で、地域で必要とされる慢性期病床は、市立病院だけでなく地域全体でカバーしていく必要があると認識しており、医療機関、介護施設の間でさらに連携を強化していきたいと考えております。

要望 15 扇田病院の病床数を慢性期の人向けの40床にすると言うが、お金にならない慢性期だけだと経営改善は難しいのではないかと。 [総合病院経営企画課]

回答 令和7年度からの慢性期1病棟体制は、現在の地域の医療需要に対応しながら、病床削減の補助金を活用して病院運営の維持を目指すものです。

しかしながら経営は依然として厳しく、更なる体制の見直しが必要であると捉えております。

（アンケートから）

要望 1 インランドデポについて。鉄道ルートに単線区間があるが、災害が起きたときの対応はどうか。 [商工課]

回答 ご指摘の単線区間に限らず、災害等により貨物列車の運行が不可能となった場合、鉄道事業者において運送事業者と連携しながら貨物駅間を代替輸送します。

また、線路不通が長期にわたる場合、その区間を迂回する列車を運転し、貨物輸送ルートを確保する取扱いになっております。

要望 2 今冬の排雪が十分に行われていない。

〔土木課〕

回答 排雪は状況を確認した上で適宜対応しておりますが、今冬は特に積雪が多く、対応が遅れ市民の皆様にはご不便やご難儀をおかけしたケースもありました。今後、除排雪業者とともに今冬の課題を整理し、よりよい体制の構築に努めてまいります。

要望 3 西館地区の交通手段を確立してほしい。

〔都市計画課〕

回答 西館地区の交通手段の確保に向けては、現在、比内地域におけるバス路線の再編を進めており、この中で、新たに西館地区の一部（片貝、寺崎、八木橋、板戸、沼田地区）をバス運行エリアに加え、交通空白の解消に努めたいと考えております。

なお、新たなバス路線での運行開始は令和 7 年 1 0 月を目指しており、詳細については、今後、座談会の開催や広報などを通じて周知してまいります。

要望 4 インフラについて。埼玉県八潮市のような道路陥没事故が発生しないよう、市は対策をしているのか。

〔下水道課、土木課〕

回答 埼玉県八潮市で下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没が発生したことを受け、市では、施工から 3 0 年前後経過した直径 40～70 センチの下水道管が埋設されている箇所の目視点検を実施し、下水道管の破損に起因すると考えられる舗装面の陥没や空洞がないことを確認しております。

下水道施設の点検や修繕については、これまでも指針に基づき実施しているところであり、引き続き適切な維持管理に努めてまいります。

また、市職員及び路面補修委託業者が常に道路状況の把握に努め、道路の不具合個所の発見、補修に当たっているほか、道路下の埋設物についても、各道路占用者に対し適切な管理を徹底するよう改めて求めてまいります。

今年度から試験的に導入した道路点検システムなどの A I 技術を効率的に活用しながら、事故の未然防止に努めてまいります。